

# 拉致問題に関する オンライン国連シンポジウム

グローバルな課題としての拉致問題の解決に向けた国際連携

日本、米国、豪州、EU 共催

令和  
4年

6月16日[木]

日本時間 21:00-22:45  
(ニューヨーク時間8:00~9:45)

北朝鮮による拉致問題は、国際社会の重大な懸念事項です。日本、米国、豪州政府及びEUは、国連のサイドイベントとして、国連加盟各国代表部の参加を得て、「グローバルな課題としての拉致問題の解決に向けた国際連携」をテーマにオンライン・シンポジウムを開催します。

本シンポジウムでは、日本及び諸外国の被害者御家族の方々の「生の声」の訴えに耳を傾けるとともに、欧州諸国の元駐北朝鮮大使をお招きし、北朝鮮における駐在経験を踏まえ、北朝鮮情勢や拉致問題の解決に向けた方途等について議論していただきます。

1 開会の辞	石兼公博	特命全権大使・国連日本政府常駐代表
2 基調発言	松野博一	内閣官房長官兼拉致問題担当大臣
3 各共催国等代表挨拶	リンダ・トーマス=グリーンフィールド ミッチェ・フィフィールド オラフ・スコグ	特命全権大使・国連米国政府常駐代表 特命全権大使・国連オーストラリア政府常駐代表 特命全権大使・国連EU常駐代表
4 拉致議連代表からの挨拶	古屋圭司	北朝鮮に拉致された日本人を早期に救出するために行動する議員連盟会長
5 被害者御家族からの 「生の声」の訴え	横田拓也 飯塚耕一郎 早坂胞吉 早坂勇治 ジェームズ・スネドン バンジョン・パンチョイ	北朝鮮による拉致被害者家族連絡会代表 北朝鮮による拉致被害者家族連絡会事務局長 特定失踪者家族会幹事 早坂勝男氏 兄 デービッド・スネドン氏 兄 アノーチャ・パンチョイ氏 甥
6 パネル・ ディスカッション	モデレーター 星野俊也 パネリスト アラスティア・モーガン ヨナス・ミカエル・ウェンデル	大阪大学大学院教授 元北朝鮮駐在英國大使 元北朝鮮駐在スウェーデン大使
7 閉会の辞	石兼公博	特命全権大使・国連日本政府常駐代表

本シンポジウムの模様は、国連Webテレビ(英語)及びYouTube拉致問題対策本部  
公式動画チャンネル(日本語)を通じて、生中継しますので、奮って御視聴ください。



Youtube拉致問題対策本部公式動画チャンネル(日本語)  
<https://www.youtube.com/c/rachitaichannel>



UN Web TV (英語)  
<http://webtv.un.org/>